都市再生整備計画事業 フォローアップ報告書 大久保駅周辺地区

令和2年4月

京都府宇治市

1.数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4- 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

19KIV4 -	指標			目標値	事後評価			フォローアップ	±1.2840±40	フォローアップ時点での	確定値が評価値と比較して大きな差異があ る場合や改善が見られない場合等		総合所見	
1日 【示		単位	従前値	日信但	評価値	見込み·確定 の別	目標達成度	1年以内の 達成見込み	による確 定値	計測時期	達成度	理由	改善策の方向性	₩6 ロガI 元
指標1	路上K&R台数	台	612	0	393	確定 見込み		あり なし	383	R1年9月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	一般車両乗降場(送迎スペース)明 示のための看板設置等により、台 数の減少が見られた。
指標2	生活道路の自動車交 通量	台/12h	541	350	100	確定 見込み		あり なし	75	R1年9月			改善策はものよる 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	宇治淀線北側側道の整備及びJR 新田駅周辺整備が完成したこと で、生活道路の通過交通量が減少 した。
指標3	名木川流下能力	倍	1	2.5	2.5	確定 見込み		あり なし		H 年月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	準用河川名木川の整備により名木川の流下能力が向上し、事業効果が発揮された。 また、修景施設整備等により、散策 歩道のネットワークの充実が図られた。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4- その他の数値指標の確定

	+6 +=		公式店	口标体	事後評価			フォローアップ	±1.29dn±#0	フォローアップ時点での	確定値が評価値と比較して大きな差異があ る場合や改善が見られない場合等			
	指標	単位	従前値	目標値	評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の 達成見込み	による確 定値	計測時期	達成度	理由	改善策の方向性	総合所見
その他の数値指標1						確定 見込み				H 年月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2						確定 見込み				H 年月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み				H 年月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シー	・ト 添付様式5 - に記載した Dまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
	名木川散策歩道及び河川・河床内の維持管理		除草作業をしたことにより、景観的配慮と適切な通水状態を確保した。	
·成果を持続させるために 行う方策				
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた		一般車両乗降場(送迎スペース)の明示のため、送迎スペースの始点と終点に看板を設置。 また、市営駐車場の利用促進のため、案内板を設置。	看板の設置により、一般車両乗降場(送迎スペース)内の利用台数が増加し、路上K&R台数については少し減少した。また、市営駐車場については案内板設置により利用台数が増加した。	更なる利用者への周知
めの改善策 ・残された課題・新たな課題への	JR利田制同位(の一般年間米阵场寺の空補 P、女 今で加達か生行穴即の女中	JR新田駅周辺整備(一般車両乗降場整備、道路整備・路側 帯のカラー化、広場整備、歩行者支援施設(シェルター)整 備)を実施。	JR新田駅周辺整備の完成により、快適に歩行できる空間が確保された。	

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4- フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
まちづくりニュースの発行	周辺地域の自治会・町内会に対し、市営駐車場の利用について、まちづくリニュース を通して情報提供を行う。	令和2年度	-